

田植えの進捗状況 (5月9日現在概況速報) について

農業普及技術課 農業革新支援担当

各農業改良普及センターでは5月9日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

【調査結果】

- 1 5月9日現在、県全体の田植え進捗率は7%であり、地帯別では、北上川下流が10%、東部が11%、北上川上流・北部がそれぞれ0%となっています。
- 2 4月の天候不順の影響で、ほ場準備作業が遅れたことや、苗の生育が一時停滞したことなどから、昨年に比べやや遅いペースとなっています。
- 3 現在は天候の回復にともない、耕起・代かき等のほ場準備は順調に行われており、県全体の田植えは5月11日頃から本格化し、概ね適期に作業が行われる見通しです。

表1 地帯別田植えの進捗状況 (5月9日現在、各農業改良普及センター調べ)

地帯名	過年次同時期の 田植え進捗率 (%)				田植え時期 (月/日)		
	本年	H30	H29	H28	平年値		
					始期	盛期	終期
北上川上流	0	1	0	2	5/16	5/21	5/26
北上川下流	10	14	16	16	5/10	5/15	5/22
東 部	11	11	16	14	5/12	5/16	5/23
北 部	0	0	0	0	5/20	5/24	5/27
県 全 体	7	10	11	12	5/12	5/17	5/23

注1) 平年値は平成21～30年の10カ年の平均値 (地帯別作付面積による加重平均)

注2) 始期: 10%終了、盛期: 50%終了、終期: 90%終了

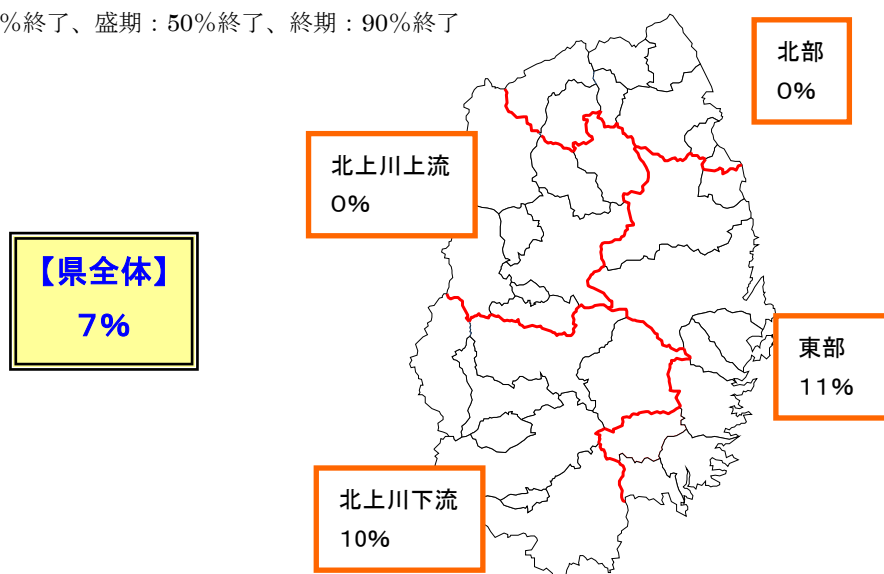


図1 地帯別田植え進捗率 (5月9日現在: 各農業改良普及センター調べ)

【栽培管理のポイント】

- 1 田植えは、寒い日や風雨の日を避けてできるだけ暖かい日に行うこと。  
※県内の田植え適期……県南部: 5月10日～20日頃、その他の地域: 5月15日～25日頃
- 2 田植え直後は、植え傷みにより苗の吸水力が低下するので、やや深めの水管理 (葉先が2～3cm水面から出る程度) とし、水温の確保に努めること。
- 3 入水は、気温と水温の温度差が少ない朝方や夕方に行い、日中はなるべく水を動かさないこと。
- 4 気温が15℃以下の時は、葉先が出る程度の深水管理とするが、低温でも日照があり風のない日は、日中は浅水にして水温や地温の上昇をはかること。